

第4次泉大津市総合計画後期基本計画（案）に 対する市民等の意見・提案と泉大津市の考え方

- 1 募集期間 令和元年10月1日（火）から令和元年10月31日（木）まで
- 2 提出方法 郵送、ファックス、電子メールまたは政策推進課へ持参
- 3 提出人数 3人
- 4 提出件数 8件
- 5 主なご意見と市の考え方

	意見・提言の概要	市の考え方
1	<p>泉大津が選ばれる市になるためには、社会で活躍する人をどれだけ輩出したかによって決まるように思います。そのためには、未来を担う子供たちにいい環境を与えるかという視点で引き続き第4次泉大津市総合計画のバランスを取っていただきたいと思います。具体的には、ユニークな教育システムや、海に立地したロケーションをいかしたまちづくり等、子供が大人になった後も心に残る政策があれば楽しいと思います。</p>	<p>後期基本計画において、グローバル化に対応できる人づくりを進めることで、個々の能力を最大限に引き出すといった視点を新たに加えており、ご意見いただいた「未来を担う子供たちにいい環境を与える」取り組みも行います。また、「ユニークな教育システム」については、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりやICT機器を活用した授業展開、コミュニティスクールの導入による地域とともにある学校づくり、小中連携教育の充実や一貫教育の導入などの施策をより効果的に推進して、児童生徒に還元し、「海に立地したロケーションをいかしたまちづくり」については、夕陽が美しく、フェニックスコンサート、企業誘致など可能性を多く秘めた臨海部を有することから、このような地域資源を有効に活用したまちづくりを進めていきます。</p>
2	<p>概ねこの基本計画には賛同いたします。</p> <p>とりわけ「病気になる身体作り」については最優先に取り組むべきだと思います。2030年代に厚生年金制度が破綻するという試算より、社会保障制度もすでに限界を迎えておりこれからの時代を生きていくために健康体であることは必須であると考えております。</p> <p>私たち市民にもこの基本計画を理解し、行動する責任があると強く感じ</p>	<p>ご意見の「健康体でいること」については大きな課題と捉えており、健康づくりの推進を進めているところです。現在取り組んでおります、あしゆびプロジェクトもこういった問題意識などから取組を始めたもので、「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」の実現をめざします。</p> <p>また、総合計画の発信の件ですが、いかに多くの人に興味を持って</p>

<p>ます。</p> <p>行政の発信を受けとることが難しくても、親や親戚、友人に強く勧められると興味を持つ人が更に多くなるのではないかと感じます。</p> <p>いかにして口コミを広げていくか、行政とキーマンとなる市民たちとその方法をよく話し合う場があればよいと思います。</p>	<p>らえるかが課題であることも認識しており、わかりやすい概要版の作成などにより、広い世代の方に興味を持っていただき、口コミでも広がっていくよう工夫していきたいと考えています。</p>
<p>3</p> <p>1. 市民ニーズに対して、十分に応えることが難しく、応えることができないのは当然だと思うので、あえて書く必要はないと思う。(本当に困っている人が相談に来たら、一生懸命にやる。)</p> <p>2. 教職員の研修は絶対に必要だが、市単位で実施せずに、府単位や全国単位の研修に参加したら良いと思う。</p> <p>3. 人権・平和を教えるのは、学校や教育現場と限定すべきではない。例えば、ラグビーにおける、試合後のノーサイド精神や、代表チームの被災地ボランティアなどを伝える方法もある。</p> <p>4. 子どもへの支援は、限られた中でしかできないため、どこの自治体も型にはまったようなことを行っている。市民の役割も理解できるが、自分のことで精一杯で周りにまで気を配ることが出来ない。</p>	<p>1. 相談については大切な業務と考えています。しかしながら、今後、少子高齢化が進むと生産年齢人口も減少し、国の資料からは、2040年には、本市の職員も17パーセント少なくなると予測されます。このことから、本市では、業務改革を行い、ICTの活用などにより、職員が相談業務等に注力できるよう取組を進めているところです。</p> <p>2. 教職員研修につきましては、国・府・市実施の研修会を全教職員に周知しており、その中には該当する教員は悉皆の法定研修やご指摘のいじめ対応研修も含まれております。今後とも教職員の資質向上に努めていきたいと考えています。</p> <p>3. 人権尊重の精神の涵養を目的とした人権教育や道徳教育は学校の教育活動全体を通じて指導するものです。様々な機会を通じて児童生徒にはその大切さを伝えていきたいと考えています。また、人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する理解を深めることを目的とした人権啓発についても、努めてまいりたいと考えています。</p> <p>4. 子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進するため、医療機関等との連携、支援体制の強化、経済的支援を行っているところですが、協働の考え方でお示ししている通り、市民、団体・事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら連携して、子供たちの豊かな個性</p>

<p>5. 「第4」節 安全で心やすらずまちづくり」が最も大事で、しっかり取り組むべきところです。</p> <p>6. 市民が市の取組みを知るには、市の情報発信が非常に重要なので、今後も活動に期待している。</p> <p>以前、市の取組が新聞で掲載されたが、市民として泉大津がいいニュースで掲載されると大変うれしく思う。こういったことは市民が活気づくので期待している。</p> <p>また、市の取組を知る手段としての広報紙に大いに期待している。知らない、知らなかったとは、言わせない。それ程の気力で頑張ってもらいたい。</p>	<p>が生まれ、笑顔のあふれるまちづくりを行っていきたくと考えています。</p> <p>5. 市民の誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、市民・地域・行政が協働して取組を推進していきたくと考えています。</p> <p>6. 市政の情報を発信することにより、市が活気づくよう今後もプレスへの積極的な情報提供や、LINEなどのSNSも積極的に活用しながら情報発信し、ご期待に添えるよう取組を進めてまいります。また、広報紙につきましても広報モニターアンケートや市長への提言、タウンミーティング等により要望、ニーズを把握し情報内容を充実してまいります。</p>
---	--